

プロジェクト研究 アフリカ農村開発手法の作成

本編 アフリカ自立型農村開発手法
第2年次報告書

平成16年3月

独立行政法人
国際協力機構

プロジェクト研究
アフリカ農村開発手法の作成

本編 アフリカ自立型農村開発手法
第2年次報告書

平成16年3月

独立行政法人
国際協力機構

序 文

2000年の国連総会において「ミレニアム開発目標」の1つとして、「2015年までに世界の貧困人口割合を1990年の水準の二分の一に削減する」ことが確認されました。アフリカでは、貧困層の7割以上が農村で生活を営んでいるといわれ、貧困の削減を図る上で農村地域の開発が大きな課題となっております。

また、2003年10月には東京において第3回アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development III: TICADIII）が開催され、アフリカの開発の重要性に対する関心が高まっています。

独立行政法人国際協力機構では、アフリカの農村開発における我が国の協力のあり方を考察することは、援助の効率的な実施の観点からも重要であると考え、1999年度（平成11年度）からプロジェクト研究「アフリカ農村開発手法の作成」調査を実施して参りました。その成果の一つとして、2001年度には、アフリカ農村開発協力において、対象村落の分析から開発プロジェクトの立案に至る調査・計画段階についての一つの指針となる「アフリカ農村開発手法の作成ガイドライン（計画編）」を策定しました。また、2002年度からは、同ガイドラインの今後の幅広い活用を念頭に、農村開発におけるプロセス（実施）に焦点を当てた調査・研究を行って参りました。本報告書は、その成果を取りまとめたものです。

本プロジェクト研究におきましては、「計画編」策定時から国内研究会に参加して頂いている多くの方々に、引き続き多大なるご協力を頂きました。また、アフリカ農村開発協力に関する意見交換を目的に訪問した、他の援助国や国際機関、JICA在外事務所にもご協力を頂きました。ここに改めて謝意を表します。本調査の国内研究会は様々な立場でアフリカ農村開発に取り組む方々の意見交換を行う貴重な機会ともなり、今後、アフリカへの協力を行なっていく上でも、こうした機会を持てたことを嬉しく思います。

なお、本調査の調査研究及び取りまとめは、（財）国際開発センターが担当しました。

本報告書が機構職員のみならず、広くアフリカ諸国における農村開発協力に携わっておられる関係各位の一助となることを願っております。

平成16年3月

独立行政法人 国際協力機構
農林水産開発調査部長
平松 紀延

目次

序文

第1章	「自立型農村開発」の定義	(渡辺 淳一)
1-1	自立型農村開発とは	1
1-2	自立型農村開発を具現化するための考え方	2
第2章	「自立型農村開発」における手法の可能性と課題	
2-1	自立型農村開発における「プロセス」の考え方(江本 里子)	5
2-1-1	自立型農村開発において「開発をプロセスとして見る」ことの意義	5
2-1-2	自立型農村開発における「プロセス」の考え方	10
2-1-3	プロセスを理解するためのアプローチと一般的課題	12
2-2	主要ドナーのモニタリングの考え方について(鳥海 直子)	16
2-2-1	主要ドナーのモニタリングの考え方	16
2-2-2	ドナー比較	20
2-2-3	考察	23
2-3	自立型農村開発具現化のための手法(アプローチ)(鳥海 直子)	26
2-3-1	はじめに	26
2-3-2	自立型農村開発を具現化する上でのPRA手法の課題	26
2-3-3	住民による農村開発への取り組みを促進する手法	33
2-3-4	自立型農村開発を具体化するためのモニタリングについて	38
2-4	自立型農村開発を具現化する上でのPCM手法の現状と課題 (島津 英世)	40
2-4-1	PCM手法とは	40
2-4-2	開発計画とプロジェクト	41
2-4-3	自立発展性と垂直展開・水平展開	41
2-4-4	合意形成のツールとしてのPCM手法	43
2-4-5	プロジェクト(結果重視)から開発(プロセス重視)へ	44
2-5	アフリカ自立型農村開発のためのプロセス・モニタリング(渡辺 淳一)	47
2-5-1	開発におけるプロセスの考え方	47
2-5-2	何故にプロセス・モニタリングか、そしてその課題は	48
2-5-3	自立型農村開発におけるプロセス・モニタリングとその課題	50

第3章	「自立型農村開発」における政府の役割	
3-1	「自立型農村開発」における政府の役割について（渡辺 淳一）	55
3-1-1	政府の役割	55
3-1-2	地方分権化の流れにおける政府の役割とその可能性	55
3-1-3	自立型農村開発における政府の役割	58
3-2	地方分権移行期の農村開発における政府の役割～タンザニアの事例から～（藍澤 淑雄）	60
3-2-1	農村開発における政府の役割に影響を与えてきた主な要因	60
3-2-2	農業・農村開発に期待される政府の役割	62
3-2-3	農業・農村開発の現場で地方政府が直面している問題	63
3-2-4	農業・農村開発におけるタンザニア政府の役割を支援するための日本の協力のあり方	66

参考文献

図表リスト

[図]

第 1 章

図 1-1	住民参加のタイプ別	1
-------	-----------	---

第 2 章

図 2-1	「実施：ラーニング・プロセス」	9
図 2-2	自立型農村開発における「プロセス」と「プロセス・モニタリング」	11
図 2-3	モニタリングの実施	25
図 2-4	プロジェクト・サイクル	40
図 2-5	プロジェクトの垂直展開と水平展開	42
図 2-6	住民関与の度合いと計画段階（公共事業型プロジェクトの場合）	44
図 2-7	参加の度合いとプロジェクト・サイクル（参加型プロジェクトの場合）	44
図 2-8	「結果」とアウトカム	45

第 3 章

図 3-1	地方開発における二重構造（県開発行政と地方自治政府）	57
図 3-2	農村開発における政府の役割に影響を与えている主たる要因	62
図 3-3	地方分権移行期における中央政府、州政府、県政府の関係（概念図）	65
図 3-4	農村外部者による農村ニーズに合致した協力範囲の拡大	67

[表]

第 2 章

表 2-1	EC の海外協力プロジェクトにおける評価、モニタリング、監査の違い	17
表 2-2	プロセス・モニタリング比較	21

[Box]

第 2 章

Box 2-1	「プロセス」の陰喩（metaphor）：3つの意味	7
Box 2-2	ロジカル・フレームワークの限界	8
Box 2-3	開発アプローチの重要な転換	9
Box 2-4	プロセス情報が必要とされる理由	10
Box 2-5	モニタリングにおけるプロセス指向アプローチの一般的特徴	12
Box 2-6	プロセス・モニタリング/リサーチの多様な側面	13
Box 2-7	プロセス・ドキュメンテーション・リサーチ（PDR）	13

Box 2-8	GTZ によるプロセス・モニタリングの4つの基本的活動	14
Box 2-9	日本の援助関係機関による PRA の定義例	27
Box 2-10	PRA を使って ~モザンビーク調査からの教訓~	28
Box 2-11	専門知識に基づいた住民によるモニタリングの重要性:ウォーター ・ハーベスティング事例~	31
Box 2-12	住民の能力向上を支援するファシリテーターの資質	32
Box 2-13	オーナーシップ醸成のためのコストシェアリング	34
Box 2-14	スタディツアー (Study Tour) ~	35
Box 2-15	住民に受け入れやすいレベルに合わせた技術を主体とした協力	36

国内研究会メンバー/ワーキンググループメンバー/メールによる意見交換メンバー リスト

国際協力銀行開発第4部第3班	専門調査員	坂下 優子
元 UN/ESCAP CGPRT センター	所長	岡部 四郎
(有)アールディーアイ	主任研究員	岩崎 寿光
(合)環境と開発研究所	代表	島津 英世
(株)三祐コンサルタンツ海外事業本部技術部	部長	橋口 幸正
	主幹	畑 明彦
太陽コンサルタンツ(株)海外事業本部	本部長	岩本 彰
日本工営(株)コンサルタント海外カンパニー		
地域社会事業部・農業開発部	部長	神山 雅之
(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル		
総合開発事業部農業開発部	部長	松本 計司
(特活)アフリカ地域開発市民の会(Cando)	代表理事	永岡 宏昌
笹川アフリカ協会 東京事務局	前事務局長	皆川 眞孝
	事務局長	宮本 正顕
日本国際ボランティアセンター プロジェクト支援委員		壽賀 一仁
近畿大学 農学部国際資源管理学科 教授		池上 甲一

国際協力機構(部署名、役職名は調査実施当時のもの)

専門技術嘱託		水田 加代子
国際協力専門員		赤松 志朗
国際協力専門員		時田 邦浩
農林水産開発調査部広域調査員(アフリカ・農業担当)		西牧 隆壯
国際協力事業団 総務部総務課 課長代理		三次 啓都
農林水産開発調査部農業開発調査課	課長	太田 光彦
農業開発協力部畜産園芸課	課長	高間 英俊
林業水産開発調査	課長	水野 隆
農林水産開発調査部	部長	平松 紀延
農林水産開発調査部計画課	課長	横井 誠一
	課長代理	相葉 学
	Jr.専門員	伊藤 幸範

(財)国際開発センター

総括	主任研究員	渡辺 淳一
コーディネーター	主任研究員	鳥海 直子
メンバー	主任研究員	江本 里子
	主任研究員	田中 清文

アドバイザー

主任研究員	藍澤 淑雄
研究員	尾形 恵美
研究員	中井 達哉
顧問	高瀬 国雄